

◇日本の伝統文化を伝える、コラボレーション

今回の究極のコラボレーションを実現できたのは、異なる環境でそれぞれの技術の先頭に立ち、日本文化の伝統と最新の融合を極めた二人の人物の力によるところが大きいことも事実です。

ゴルフクラブの匠 杉山 健三 X 漆の現代への伝承 渡邊 和子



◆ゴルフクラブの匠 杉山 健三

1947年1月1日 茨城県生まれ。1965年 マルマン(株)入社以来、クラブ製造一筋。プロの高い要望に応え、的確にクラブへと具現化する“匠の技”を備える。1990年前半には、二人のマスターズチャンピオンのクラブを手がけた【マルマンの巨匠】。漫画「風の大地」には、実名で登場する。現在、製造開発本部最高顧問として、すべてのマルマン製品の生産を監修する一方、日々、製造の現場に立ち続け、クラブと向き合い続ける。彼の名を冠した「KS ウェッジ」のspin性能の高さと打感のやわらかさは彼のアイデアの蓄積であり、卓越した研磨技術の高さによる逸品でもある。そして、最高級ゴルフクラブ「MAJESTY」においては、圧倒的な飛距離性能を実現するために、精巧に仕上げられた最新の上質な素材を用いているが、それらを「MAJESTY」特有の曲線的なラインを生かした優雅な造形に仕上げることができるのは、卓越した研磨技術が成せる技である。さらに、「MAJESTY」が崇高な存在である象徴として、独自の深みのある輝きを放つことができるのは、ヘッドを見事なまでに鏡面のように仕上げる彼の研磨技術の高さと「MAJESTY」ブランドに対する、彼のこだわりと熱い思いによるものである。

◆漆の現代への伝承 渡邊 和子

国家検定一級塗りたて技能士。2級下地技能士。1986年より 福井県鯖江市塗師大久保隆三に師事、輪島、木曾を廻り、その後、多摩市豊ヶ丘に修理専門の工房「NADESICCO」創設。硝子、金属の素地に塗るためには共同開発などの協力が必要と感じ、法人化に踏み切る。株式会社 Duco 設立 町田市に工房を移す。2004年～2006年 日本クラフト展連続入選。伝統工芸を保護する立場ではなく、経済社会の中で漆産業を回転させる仕組みを提案。2008年12月全国商工会議所女性会連合会より第7回「女性企業家大賞審査委員長賞」受賞。2009年2月12日 経済産業省より地域資源活用の事業として開発した「輪島塗の技術を活用したチタン、ガラス素地製品」が認められる。今回、Rhus プロジェクトの代表として、作業工程ごとに細分化された輪島塗の職人をまとめ、先人達から伝承された技術の「伝統」を、新しい感性で「現代」に活かすべく、ゴルフクラブでは初めての取り組みを実現させた。

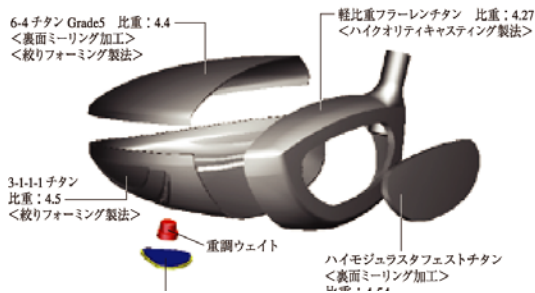
◆Technology

【Driver】

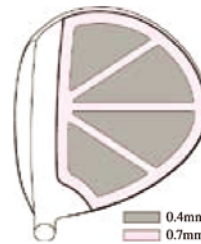
究極の最適重心設計を成し遂げる、「ツインユニット構造」

ヘッド各部に最適な素材、製法を選定することで、軽くしたい部分は軽く、強くしたい部分は強く、余分な肉も極限までそぎ落とした革新のヘッド構造。かつてない低重心と深重心により、高く飛び出しどこまでも伸びていく究極の弾道が生まれます。

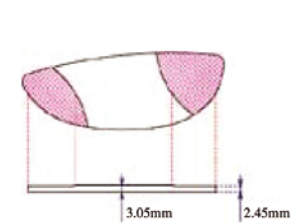
●ツインユニット構造図(ドライバー)



●TOP 表面部分肉薄構造図



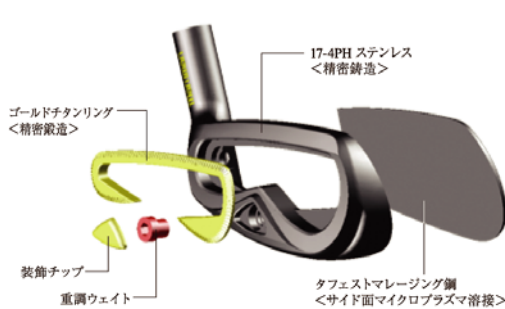
●FACE 表面部分肉薄構造図



【Iron】

マジスティアイアの揺るぎない革新構造

ユーティリティかと思わせるモデル形状により重心深度が深く、長い距離をやさしく飛ばせるロング番手。上下のプレに強いヘッドで飛距離が安定、ピンをデッドに狙っているショート番手。



サイド面高精度レーザー溶接により、シャローフェイスでも薄肉スパンを維持することができ、反発領域を確保。



フェイス面溶接: 07MJ



フェイス面溶接: 09MJ

大きくしなって力強く弾き飛ばす高性能シャフト

使用されるカーボン素材は、ナノテク素材フラレン配合低レジン極薄カーボンシート。フラレンによってカーボン繊維同士の結合力が強くなり、しなやかに大きくしなって力強く弾き飛ばす、マジスティでしか味わうことが出来ないフィーリングが生まれます。

●マジスティ プレステジオ ゴールドプレミアム



【Driver & Fairway Wood】

	W1	W3	W5
ロフト(°)	10.5	16	20
ライ角(°)	61	58.5	59.5
プログレッション(mm)	17.4	16	17
ヘッド体積(cm ³)	460	217	210
長さ(インチ)	45	43	42.5
総重量(g)/バランス	R 275/D1	287/D1	291/D1

【Iron】

	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	PW	AW	SW
ロフト(°)	20	23	26	29.5	33.5	37.5	42	47	56
ライ角(°)	60	60.5	61	61.5	62	62.5	63	63.5	63.5
プログレッション(mm)	1.0	1.3	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	5.1	6.0
長さ(インチ)	38.5	38	37.5	37	36.5	36	35.5	35	35
総重量(g)/バランス	R 332/D0	337/D0	343/D0	350/D0	358/D1	365/D1	372/D1	382/D2	384/D2

【Putter】

オーソドックスで構えやすいピンタイプ。一般的な軟鉄よりも軟らかい S18C の塊から NC 加工で高精度にネック一体で削りだし。表面はダイヤモンドライクカーボン処理を施し、黒く、深みのある精悍な輝きを保ちます。ロフト: 4°、長さ: 34インチ、シャフト: 82g、総重量 504g。

<漆(うるし)>

従来の伝統的な漆器製造では、切り倒してから3~5年以上をかけて乾燥させた材料をもとに、さらに半年から1年の時間をかけ、124の工程を経てつくられる輪島塗。石川県能登(のと)半島の輪島で産する漆器で、堅牢(けんろう)性に富み、加飾では沈金(ちんきん)や蒔絵(まきえ)が行われます。各工程は多岐にわたり、完全な分業制となっています。漆器技術の素晴らしさを多くの人々に伝えるため、新時代の漆工芸では、現行の漆器の技術を分割して異素材に応用し、製品化しました。

下記画像はチタン蒔絵。渡邊和子氏の主宰する、Rhusプロジェクトが、職人の象徴として2700mm×1600mmのチタンでできた3枚の屏風に漆蒔絵を施すものを新日鐵株式会社の協力を得て、チタン職人が最新技術で磨き上げ、輪島の職人と創作。21世紀の風神、雷神を開発しました。



<チタン漆の特色>

- ・平滑な鏡面に漆を塗ることで漆黒がさらに美しい
- ・軽い
- ・海外に輸出しても素地割れがない
- ・チタンに漆を塗ることで木のような感触

<山水画について>

山、川などの自然をモチーフとした絵画。

飛鳥、奈良時代より中国の影響を受けながら日本でも発展し、次第に和様化した。鎌倉時代に禅宗の興隆とともに発達、室町時代には水墨山水の名画がみられる。絵巻物、襖絵、屏風絵などに描かれ、現存する多くは重要文化財とされている。

ゴルフクラブに施しました山水画の蒔絵はそのような襖絵や屏風を基に意匠した楼閣山水です。遠くの背景は研ぎだし蒔絵の技法を用い手前の景色は高蒔絵の技法を用いました。重要文化財の山水画に描かれている【風景を描きながらその写実にとどまらず、自然の中に神を見出す日本独特の自然観】を表現いたしました。

<印傳(いんでん)について> *キャディバッグに使用

「印伝皮革」の略。羊や鹿の皮をなめし、染色後に漆で紋様を描いたもの。名前の由来は、「印度伝来」によるものとされています。17世紀以降、日本に定着し、独自の発展を遂げた伝統工芸。本商品には本金粉を贅沢に使用した『金装飾』の印傳を採用しました。

【キャディバッグ】

漆を用いた日本の伝統工芸『印傳』を配したハイグレードモデル。日本の職人が1本1本精魂込めて作り上げた至極の逸品です。口枠:9.5型、重量:4.7kg、長さ:47インチ対応
素材:高級鹿革(印傳使用部分～漆+本金粉装飾)+高級牛革(印傳使用部分以外)



<マジェスティ プレステジオ ジャパン>

◇希望小売価格 税込 16,800,000円
(ウッド3本、アイアン9本、パター、キャディバッグのフルセットでの販売のみ)
*完全受注生産。受注後、3ヶ月後のお渡し。

日本の伝統文化を
語り継ぐ、新しい出会い。 世界へ、次の世代へ。